

蔵増村

（冠字番号 呂 第 18 号）

成果 X=-181325.100m
Y=-43947.210m
標高 89.16m

世界測地系「測地成果 2011」

大和工営一等三角点の会

点	選	昭和 59 年 10 月 23 日	選	木村	勲
の	造	平成 一 年 一 月 一 日	—	—	—
記	埋	昭和 59 年 10 月 24 日	埋	木村	勲
抜	観	平成 8 年 9 月 10 日	観	鶴田	亨
粹	（備考）高度基準点測量 昭和 59 年 10 月 24 日南西方向に約 290m移転 旧選点年月日：明治 25 年 8 月 28 日 旧埋標年月日：明治 25 年 10 月 13 日				
所在 山形県天童市大字蔵増字谷地 4911 番地					

登山日 2014 年 8 月 31 日（日） コースタイム：徒歩 0 分

田んぼの中の三角点蔵増村

一等三角点は高い山の上にある??..

以前、測量遺産「塩野原基線」の一等三角点の案内を行ったとき、「一等三角点は高い山にあるんじゃないんですか？」と質問された方がいた。そんな場合は、正確な 1/5 万の地形図を作るための一等三角点なので、天童市の「蔵増村」みたいに平地にも設置されている。と説明することが多い。一等三角点白鷹山から山形市経由で最後の予定地「蔵増村」へ向かう。

一等三角点蔵増村への道順

蔵増村への道順は、一般国道 13 号の天童市老野森から東北自動車道の天童 IC へと向かう。天童 IC を通り過ぎて更に進むと蔵増郵便局がある。その先の交差点を左折して進むと直線道路になり、最初の農道との交差点を右折し、その先の T 字路の右側に蔵増村がある。国道から車で約 10 分の距離である。



郵便局の看板が見えたら次の信号を左折する・・・

土地改良事業で移転した三角点!??..

現在の蔵増村一等三角点は昭和 59 年に設置されたもので、初代の三角点は北東方向へ約 290 m 離れた場所に明治 25 年に設置されていた。それが土地改良事業（圃場整備）のため現在地に移転されたものである。

周辺は区画整理された田んぼが広がる田園地帯で、農道の西側には「桃畑」等の果樹園になっている。

塩野原基線を除けば、山形県の一等三角点で田んぼの中にある一等三角点は蔵増村だけである。徒歩 0 分、120 年以上昔の柱石に会えるのも「マニア」には嬉しい限りだろう。



県道から右折した農道の T 字路右側にある・・・

三角点の柱石とご対面・・・

蔵増村の一等三角点は、T字路の角にあり4個の「保護石」で守られていた。昭和59年（1984年）に移転埋標されているが、三角点の柱石は、明治25年当時の「初代」のものを使用している。石は塩野原基線同様に笹谷峠産茄子目石が使用されて、重厚な灰色の輝きは120年以上も風雪に耐えてきた風格が漂う。柱石頭部の2ヶ所が破損のため修理された痕跡が見て取れる。



三角点柱石は4個の保護石で守られている・・・

蔵増村は一等三角点補点・・・

一等三角点本点の配点密度は標準で45km、一等三角点補点と同じく標準で25kmにして設置されている。蔵増村の場合は一等三角点補点になる。なお、山形県を代表する月山、鳥海山も一等三角点補点となっている。

蔵増村の三角点からは、葉山、舟形山（御所山）そして白鷹山を測量している。



柱石頭部に補修痕跡。初代の石です・・・

蔵増村から白鷹山を望む・・・

平地から周辺の山を眺めて、その山の名前を覚えることは決して容易いことではない。まして自分の生活圏外の知らない土地に行って「あの山は〇〇」と確認できるのは尚更である。

蔵増村から周囲を見渡してみると、北側は雲が多くて見通しが効かないが南側は何とか山脈が見て取れる。先ほど「ふたつの白鷹山」を往復してきたばかりだが、シッカリと自分の頭の中で確認できた。そしてその先の景色（白鷹山山頂から見た景色）も浮かんでくる。平地から眺める山は空に張り付いていて、平面的な風景に思える。しかし自分が登った山を平地に戻り、平地から改めて眺めてみると、平面的な風景でしかなかった山がパノラマ的に感じられるように思える。「山の彼方の空遠く・・・」が見えてくるような気がする。山に登って景色を楽しみ、登った山を平地から眺めて懐かしむ。それも山旅の楽しみ方かも知れない。



舟形山（御所山）方向は雲の中・・・



登った山を平地で確認する楽しみも・・・